

水引後の衛生対策

令和元年（2019）年 10 月 15 日

栃木県農政部畜産振興課

台風 19 号の影響により記録的な大雨に見舞われました。
畜舎の浸水等があった場合には、伝染性疾病の発生が危惧されるため、水引後、早急に下記の衛生対策を行い、発生防止に努めてください。

1 畜舎消毒の実施

各種疾病（大腸菌症、サルモネラ症、乳房炎、気腫疽、破傷風等）の発生が危惧されます。消毒の徹底をお願いします。

【消毒の手順】

- ① 畜舎の床、側壁等の水洗洗浄
予め、土砂・漂流物等汚染物を取り除き、よく水洗する。
- ② 水洗後、よく乾燥させる。
（注意）乾燥させずに、消毒を行うと、消毒効果が低下します。
- ③ 適正に希釈した消毒薬を、動力噴霧機で天井から順に噴霧する。
☆ 漏電防止のため、電灯、コンセント類は、ビニール（養生テープ）等で覆い、ガムテープで密閉して、消毒薬がかからないようにしましょう。
☆ 消毒薬は、使用説明書に従い、用法・用量を守って正しく使用しましょう。

2 通路・床、堆肥舎消毒の実施

消石灰の散布も有効です。

※ 消毒は、おおむね 1 週毎に 3 回以上実施してください。

〔防疫対策の徹底〕

【衛生管理区域への病原体持込みの防止の再徹底】

- ・農場に持ち込む物品や車両の消毒を徹底する。
- ・農場出入口に石灰帯・踏み込み消毒槽を設置して靴底の消毒の徹底をする。
- ・農場内への関係者以外の立入をさせない、また物を持ち込ませない。